

第25回 おらじで七ヶ宿

七ヶ宿火まつり

七ヶ宿の夏の最大イベント「わらじで歩く七ヶ宿」が8月22日に開催されました。今年も東北各地はもとより、遠くは、愛知県から、年齢も6歳から86歳までの総勢483名が参加しました。地元の人々の歓迎を受け、参加者は思い思いの格好で七ヶ宿の自然を満喫しながらのんびりと街道旅を楽しみました。また、前日の「七ヶ宿火まつり」は探燈大護摩供、花火大会が開催され、約1700人が訪れました。

出店には多くの人々が来ていました。



山伏（東北修験会）とエコー設備のみなさんが担ぐ大わらじ



探燈大護摩供での大わらじ奉納



花火大会、夜空にきれいな花火が舞い上がりました。



- ① 関からスキー場へ移動するバスの中、町の係がガイド役を務めました。
- ② いよいよスキー場から11キロの旅、出発です。
- ③ 旅姿コンテスト参加の関小学校3年
- ④ 最初のおもてなし、峠田地区でキユウリ漬けと麦茶のサービス
- ⑤ 参加者から「これが楽しみなんだよ」の声も聞かれました。
- ⑥ 峠田、キユウリと麦茶を持っていろいろ付き休憩所（小林国衛さん作）でひと休み
- ⑦ 親子松休憩所…関音楽保存会のみなさんによる笛や太鼓、獅子舞でのお出迎え
- ⑧ 七ヶ宿産そば粉を使った手作り「そばぜんざい」、他にも「かき氷」や「こんにゃく」などを食べる人で休憩所は大賑わいでした。
- ⑨ 滑津の旧街道で道行く人々を励ましたお殿様、お姫様、代官、お側付き、町娘



- ⑧ 滑津公民館休憩所、琴の調べを聞きながらキユウリ漬けと麦茶のサービス、滑津地区のみんなでお出迎え参加者から「もう一個いただけます」とおかわりのお願ひもありました。
- ⑨ 熱さ対策ミスト（霧）による冷却サービス、立ち止まり頭を冷やす姿も見られました。
- ⑩ 滑塚で人力リヤカーのサービス、水守の郷・七ヶ宿と仙台大学の生徒さんが頑張りました。
- ⑪ 「みんな頑張れ〜もう少しだ〜」わらじの日はみんなでお応援です。
- ⑫ 関互護会、保健会のみなさんによるフルーツ、生キユウリ、レモン水、麦茶のサービス、お子様にはくじ引きもあり、飲んだり、食べたり、にぎわっていました。
- ⑬ 水守の会による、炭まきコーナー森を大切にすることおいしい水が生まれるしくみに参加者から「大事なことですね〜」の声が聞かれました。
- ⑭ 焼き魚コーナー：ぶなの湖のみなさんがいねいに炭火で焼きました。ゴールまでの最後の腹ごしらえです。
- ⑮ 魚の稚魚放流、生きるための水の大切さを感じていたようです。
- ⑯ 「あと少し、ガンバレ〜」七ヶ宿応援団が最後まで声がけします。



～参加者の声～

町内からの参加者

「20年ぶりに歩いたので、コースも景色も新鮮だった。」
「七ヶ宿ってキレイだな〜と思った。」

町内小学生

「暑かったけど順調に歩くことができました。ゴールで景品がもらえました。ラッキー」

旅姿コンテスト参加者

「コンテスト参加のため、(衣装を着込んだので)熱かったです。仲間と『ガンバレ、負けるな』と励まし合いながら歩きました。今は終わった〜という感じです。」

仙台大学レクリエーション部のみなさん

滑津で人力リヤカーサービスに参加「初めて参加しました。リヤカーに乗った方から『気持ちいい〜』と感謝され、良かったです。」

仙台市からグループで参加されたみなさん

「職場の仲間で参加しました。沿道のみなさんの声援に励まされ、全員がわらじで踏破できました。おもてなしに感謝です！」

旅姿コンテスト

- 第1位 「振袖地蔵巡成就旅 やっと逢えたね七ヶ宿」
- 第2位 「ゆり太郎ジュニア」
- 第3位 「股旅」
- アイデア賞 「白雪姫・王子と歩くわらじ街道」
- 特別賞 「遍路姿」、「意味不明一座」、「アニバーサリー」

スタッフから

気温が高く、参加者の方の具合が心配でした。事故なく終了しホッとしました。来年も参加していただけようしっかりと準備したいと思います。



旅姿コンテスト第1位『振袖地蔵巡成就やっと逢えたね七ヶ宿』ゆりの里のみなさん
昨年参加、歩きながら旅姿のアイデアを出しあったそうです。準備に1ヶ月かけたそうです。



旅姿コンテスト第2位『ゆり太郎ジュニア』関地区・渡部雄大さん
「たくさんの人に声をかけられ、楽しく歩くことができました」